

radio Camnetに続くマガジン版

雲心月性

大槻ワールドへ
ようこそ

♪オリジナルCD
プレゼントします！
詳しくは
プレゼントコーナーで

Camnet マガジンをお楽しみの皆様。マガジン版「雲心月性」です。いかがお過ごしですか？

大槻は昨年度から、岡山県真庭郡新庄村の内科診療所で一人医師として勤めています。ワーク・ライフ・バランスも一層整う感じになって、自然と仲良くしています。

このコラムについては、二か月分なのでリアルタイムでは、様子をお伝え出来ません。なので、赴任してから、散歩をしたり、県北を中心にあちこちを訪れたりしました。今回は、特に新庄村の様子を紹介します。



早々と稲刈りの終わった田んぼです。
コスモスも、秋を彩っていますね。
そして、刈られた田んぼを背景に彼岸花、



これは秋の晴天をバックに、もみ殼が干されていますね。



診療所の真向いの公園も秋最中。
ソラマメかな、干されているのは？

--*-*-*-*-*-*-*-*

さて、オリジナル曲の歌詞紹介。「雨の窓」は、大槻の作詞作曲です。サブスクなどではリリースしていませんが……。

朝の紅茶を くるくる混せて
そっと瞳を 見かわすけれど
何か違うの あなたと私
小さな部屋に 思い出ばかり
集めすぎたようね

細い雨に曇った 窓の外で一枚
枯葉が 散ってゆくわ
あゝ 訳もないのに 涙が 溢れそうなの

お願いだから あなたの胸で
もう一度 倥せを

確かめてみたいの

こんな朝には 二人でいつも
明日の予定を 話してたのに
今朝のあなたは 満足そうに
夏の二人の 思い出ばかり
話し出しているの

窓を伝う雨粒 そっと辿る私に
あなたの 笑い声が
あゝ 訳もないのに 涙で 霞む街なの

お願いだから あなたの胸で
もう一度 倥せを
確かめてみたいの

二か月分のコラムですので、時事的な話題は避けてしまいますが、疫病対策さらに国際平和を祈念しています。



プロフィール
大槻 剛巳
(おおつき たけみ)

新庄村国保診療所で内科医師として勤務
0歳：京都府福知山市にて生誕
14歳：京都府中学校陸上競技大会にて100mハードル2位
14歳：KBS近畿放送AMラジオでリスナーの詩として採用
15歳：倉敷市に転居
15 & 18歳：NHKあなたのメロディー出演
18歳：YAMAHAポップコン全国大会(譜面の部)出場
20歳：YAMAHA神戸との連携で楽曲依頼あり
24歳：川崎医科大学卒業
以降：川崎医科大学血液内科～衛生学にて診療・研究・教育に従事
1992-1996年：米国留学(医学研究)
1996年：岡山県文学選奨現代詩部門選外秀作として「岡山の文学」に掲載
2009年：Camnet CH-F(10-19) パーソナリティ担当
2021年3月、川崎医科大学衛生学教授を退官。現在に至る